

「宇宙探査の基本的な考え方」の検討について

【宇宙政策委員会中間取りまとめ（平成28年6月）（抄、12月一部改定）】

（19）国際有人宇宙探査（工程表27）[文部科学省]

・今後の国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)等における国際宇宙探査に向けた議論に対処するため、外交、産業基盤維持、産業競争力強化、科学技術等に与える効果と要する費用等の観点から、他国の動向も十分に勘案の上、我が国としての国際有人宇宙探査の検討に向けた原則とすべき基本的な考え方を平成29年度のISEF2開催までにとりまとめる。

これまでISS・国際宇宙探査小委員会で議論を進めてきたところであるが、国内外の諸状況の変化等を踏まえ、平成30年3月3日に我が国が主催することが予定されている第2回国際宇宙探査フォーラム(ISEF2)を視野に入れて、我が国としての宇宙探査の検討に向けた原則とすべき基本的な考え方をとりまとめる。

1．確認・検討事項（案）

国内外動向の再確認

低軌道について（ISS・ポストISS）

国家・国際プロジェクトとしての宇宙探査について

低軌道・宇宙探査の費用対効果

当面の我が国の宇宙探査シナリオ案（複数）

当面の我が国の宇宙探査の原則とすべき基本的考え方

とりまとめ

2．進め方・スケジュール（案）

3～7月

ISS・国際宇宙探査小委員会で検討・とりまとめ